

吉野復興大臣の福島県訪問ぶら下がり会見録

(平成29年11月19日(日) 15:50～15:55)

於) 福島県 いわき市健康・福祉プラザ「いわき ゆったり館」)

1. 発言要旨

この事業は今年から始まった事業でありまして、今回で7回目、それも我が故郷いわきで開催できたことを本当に嬉しく思います。

私も初めて今日参加をさせていただきましたけど、初対面の方々が2日間でいろんなアイデアを出して、それをIT関係の企業の方などが一つの形にしてくれて、復興庁の事業なんですけど、すばらしい事業をやっているなど、こんな思いをしたところです。

そして、せっかく出したアイデアでありますので、それを今度は具体化していく、いわゆる実現をしていくところまで復興庁として後押しをしていきたいな、こんな思いで今日はアイデアソンを見させていただきました。

5チームあったんですけど、最優秀賞は順番ですから決めなきゃならないんですけど、それぞれ優劣付けがたい、すばらしいアイデアを出し、そして、具現化できるところまでそのアイデアを持っていったということで、すばらしい事業だったなど、こんな感じでした。

以上です。

2. 質疑応答

(問) 本日は最初、発表の前に大臣自らいろんな人と関わりを持って積極的に意見交換をする中で、何か斬新だったといいますか、多分お祭りとかのアイデアを出したチームとも大臣はしゃべっていらっしゃいましたが。

(答) いろんな例えばね、えっへんいわきっていう、自慢できるところを探そう、えっへんいわきなんていう言葉自体がまさに面白いし、あとは、「面白いおばさん」、いわきにはフラおじさんというキャラがあるんですけど、「面白いおばさん」を探して、そこをデータ化して、見える化して、情報発信していこうとか、本当に私、おじさんでは考えも付かないようなアイデアがたくさん出ておりました。

(問) 今回、全部で10回通す中で、7回目で大臣参加というのは初めてということですね。

(答) 初めてです。

(問) 具現化に向けて何か決まっているようなスケジュールというものはあるのでしょうか。

(事務方) これは年度内の中で具現化していただく、ニーズを出していただいた団体ごとに、上限300万円のお金を支援しながらいろんなサポートも併せてやっていくということを年度内でやってまいります。

(問) あともう1点、大臣、一番印象に残ったアイデアは何だったでしょうか。

(答) その「面白いおばさん」発掘調査というんですか。いわきにはたくさん面白いおばさん、おりますのでね。

例えばね、津波で避難しましたね。避難所を巡ってみると、一番最初に仕切ったのは女性なんです。お掃除しましょう、トイレ当番しましょう、炊事当番しましょうって、女性が一番活躍、初動、いわゆる自治会組織ができるまでは、やっぱりおばちゃんなんです。

だから、やっぱり女性がいないと日本社会は、世界もそうだと思いますけど、駄目なんだなという。あの一番混乱した時期に、最初に立ち上がったのはおばちゃんなんです。そのことも見ていますので、「面白いおばさん」を探そうというアイデアは、いわきには「面白いおばさん」がたくさんいますので、そんなことがもし具現化できたら、面白いデータになるのかななんて気はしました。

どうもありがとうございました。

(以 上)